

## ～保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例～

### ★CASE 1★

## あゆみ保育園(大田市)

### 【保育園DATA】

- 所在地：大田市大田町吉永1355-1
- 法人名：社会福祉法人大田保育センター
- 定員：130名  
※平成27年11月2日時点で  
在籍数154名
- 職員構成（保育士）
  - ・正規職員15名
  - ・臨時職員9名
  - ・パート職員4名
  - ・保育助手3名
- 法人内他施設
  - ・久利保育園（定員50名）



### ○園長 山本恵子先生が大切にしていること

「家庭の安定」なくして  
「仕事の安定」はない！

### ☆山本恵子先生の略歴☆

- ・保育士として「大屋保育園」に入職。以後30数年保育現場に携わる。
- ・同一法人内の「大屋保育園」「久利保育園」の園長を歴任。  
7年前より「あゆみ保育園」の園長に就任。現在に至る。

## 保育士がいきいきと働く環境を整備するために

### ○職員を組織全体で応援していく

「私自身も保育士として働きながら、親の務めとしてできる限り、参観日などの行事に参加してきました。それができる環境で働くことができたから、仕事にも一生懸命取り組むことができました。私と同じように、今働く職員が、家庭と仕事の両方を充実させることができる環境を整えることが、園長として重要な仕事だと考えています。」

こう話す山本先生を中心とし、あゆみ保育園全体に浸透しているのは、職員同士が「お互い様」と思い合う姿勢です。

保育士という子どもに関わる専門職であるからこそ抱く、「仕事と同じように、自らの子どもも大切にしたい」という気持ちを職員同士が共有し、自らの子どもが急病や行事の際に休みを取ることは“普通”だと理解し合うことで、休みを取る職員も、それをフォローする職員も、それが当たり前なことだと捉えられる環境となっています。

また、山本先生はこうも話します。

「職員にはいつも『保護者対応などで難しいことがあれば、いつでも相談に来なさい』と話しています。対応が困難な事柄は職員だけで抱え込ませず、組織で対応することが重要と考えるからです。でも、職員はみんな“乗せ上手”なので、何でも対応しないといけなくなってしまって困ってるんですよ(笑)」

このように、「家庭の安定」と「仕事の安定」という大切なことを「当たり前」にしていることが、あゆみ保育園の取り組みの大きな特徴と言えるのではないのでしょうか。

## あゆみ保育園での取り組み紹介①「育休・産休明け職員への配慮」

子育て中の職員の働きやすさを大事にするあゆみ保育園では、産休・育休から復帰した職員が利用できる制度として、以下のものを整備しています。

### ◇交替制勤務の免除

復帰後子どもが満1歳になるまでは交替制勤務から外し、日勤帯（8:30～17:30）のみの勤務を可能とする。

### ◇育児時間制度

復帰後子どもが満1歳になるまでは毎日最大1時間の育児時間を取得でき、出退勤時間の変更や休憩時間の延長などに利用することができる。

また、このような支援制度の整備に加え、復帰後は担当職員数が多い乳幼児クラスに配置するなど、急な休みも気兼ねなく取ることができる配慮も行われています。

## あゆみ保育園での取り組み紹介②「法人職員合同レクリエーションの実施」

あゆみ保育園と久利保育園を運営する法人「大田保育センター」では、法人内の職員交流を目的としたレクリエーションや研修を、以下のようなユニークな方法で企画・運営しています。

- ①あゆみ保育園では5つ（概ね担当年齢単位）、久利保育園では1つの職員グループを作る。
- ②各グループの代表が年度初めにくじびきを行い、毎年実施している6つのメニュー（職員旅行・救急法講習・交流ソフトバレー大会・新年会・人権研修・理事長を講師とする研修）のどれを担当するかを決める。
- ③担当になったメニューをグループ単位で企画・実施する。理事長や園長は自発的に関わらない。

この方法で実施するようになってから、職員間の交流が活発になったほか、企画の内容が職員目線になり、参加する職員の満足度も向上しているとのこと。自らのアイデアや企画を活かす場があるということも、やりがいにつながっているのではないのでしょうか。

## ☆職員の声☆



土江 百恵先生

- ・保育士歴は19年目。
- ・年長児を担当。
- ・小学校1年生と、2歳の子どもがいます。

子育て中でも安心して働くことができる環境だな、と感じています。育休明けには配置面での配慮もありますし、子どもの病気などで頻繁に休むことがあっても、園全体で支えていただけるので、とても助かっています。

また、管理職の先生方が現場の思いを良く理解してくださるので、自分がやりたい保育に取り組むことができ、とてもやりがいを感じながら働いています。過去には自分からの提案で、年長児の食育活動として、段ボールを使ったピザ焼きや、釜でのご飯炊きを行いました。準備は大変でしたが、とても充実感がありました。



川舗 真奈美先生

- ・保育士歴は13年目。
- ・2歳児を担当。
- ・5歳（年長）と、2歳の子どもがいます。

職員間の風通しが良く、いろいろな思いを遠慮せずに伝えられるところが、あゆみ保育園の良いところだと思います。先輩の先生方は、保育士としての先輩であると共に子育ての先輩でもあるので、様々な面で相談に乗ってくださり、とても心強く感じています。私も後輩からそう思ってもらえるようになりたいと思います。

まだ子どもが小さいこともあり、病気や行事などで急な休みをお願いしないといけませんが、早く休ませてもらうことができるので、仕事が続け辛いと感じたことはありません。

## ♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～



保育現場を退き、しばらくの間専業主婦をしていましたが、7年振りに保育士として現場復帰しました。一時預かりの担当をさせていただいて7ヶ月、朝、受け入れの時に泣いていた幼子が笑顔で遊びだしたり、お母さんがリフレッシュできたいい表情でお迎えに来られるのを見ると、私も微力ながらお役に立てたかな？と、喜びを感じます。

今までは一日を“何となく”過ごしていましたが、復帰してからはパート勤務の短い時間ではありますが、やりがいがあり充実した時間を過ごしています。また、家庭以外に“自分の居場所”が出来たということを楽しんでいます。

一時預かり事業担当

